



福音讃美歌 ジャーナル

福音讃美歌協会

新しい歌を
主に歌え

■巻頭言 ■「教会福音讃美歌」発行に期待する

福音讃美歌協会理事 藤本侃也

本来ならば、このジャーナルがお手元に届くころには『教会福音讃美歌』が刊行されているはずでしたが、諸般の事情で遅れていますことをお詫びいたします。多くの方からまだなのかというお問い合わせをいただき、期待の大きさにいまさらながら驚いています。今は、7月の発行を目指して関係者一同、鋭意努力しているところです。祈りと寛容をもってお待ちくださいますよう、お願いいたします。

いわゆる福音派の讃美は『リバイバル聖歌』『聖歌』『新聖歌』と歌い続けられてきましたが、教会によって『讃美歌』を使ったり『讃美歌21』を使ったりまちまちでした。どの歌集も信徒にとってはそれぞれに思い入れがあり、今度の『教会福音讃美歌』にどのような曲が入り、また歌詞もどのようなになるのか固唾を呑んでみまっておられた方も多かったことでしょう。

私のように信徒の立場から見ていると、この20-30年の間、教会の讃美には幾分か混乱があったように思います。私は古典的(?)な人間で、バッハのような伝統的な音楽が教会音楽だと思って育ってきました。いまだに、いわゆるゴスペルやワーシップソングを礼拝の中で歌うことには違和感を感じることがあります。しかし、一方で、今の若い人々に礼拝の最初から最後まで伝統的な讃美歌を歌わせることは、また教会の扉を閉めてしまうのではないかという思いもあります。

讃美のあり方自体が国によって、地域によって文化によって異なった受容のされ方があることを私たちは認めていく必要があるように思えてなりません。礼拝の中で聖歌隊の讃美やオルガンの演奏はよくある形ですが、そこにギターやラッパ、ドラム、弦楽器、オーケストラが入る形はそれぞれの教会の歴史や文化、集う人々によって検討され受け入れられていくべきなのではないでしょうか。頭からあれはだめだとか認められないというのではなく、他の人が讃美する形を聞いてみるという寛容さも必要だと最近は考えています。

今回の「教会福音讃美歌」はいろんなジャンルの曲が選ばれて入っています。これらの全部を歌う必要はもちろんありませんが、新しい曲にもぜひチャレンジしてみたいかがででしょうか。その中から、それぞれの教会で自然に歌える曲を取り上げて讃美の輪を広げていこうではありませんか。

お詫びとご報告

ー今できる最上のものをささげたいー

讃美歌委員長 田中進

福音讃美歌協会の大きなプロジェクトである『教会福音讃美歌』の刊行のため、皆様のお祈りとご支援を心から感謝いたします。

今春（いのちのことば社のパンフレットでは、五月中旬）刊行予定となっており、本来ならこのジャーナル発行時には新讃美歌刊行の感謝と報告が掲載されるはずでしたが、残念ながら今回はこの誌面で発行日遅延のお知らせをしなければならなくなりました。手に取るのを楽しみにしておられた方々、すでに予約注文を済ませてくださった方々には、本当に申し訳ございません。お詫びとともに、ここに至るまでの経緯をご報告いたします。

今年の一月末にはレイアウトがほぼ終わり、五月には出版できる見通しでした。それに則ってパンフレットの配布とともに予約注文を開始したのです。しかし平行して行われていた歌詞や曲の最終チェック、特に翻訳の最終決定などが意外に手間取りました。各担当者は納得の行くまで手を入れ上げたいという思いを持ちつつ、出版期日が日に日に迫ってくる中、ジレンマに直面しました。また編集責任は福音讃美歌協会ですが、印刷・発行を請け負ってくださるいのちのことば社は国内及び諸外国の著作権交渉も担当してくださいました。実は、この交渉にも時間を要しました。発行する讃美歌全体が最終的に確定するまでは詰められないのです。また、最初の校正段階で訂正・変更箇所が思ったよりも多く、いのちのことば社の担当編集者から、今回の讃美歌の出版には一般書籍よりも校正に時間を要するとの要請があり、あらためて理事会で調整した結果の判断です。五月中旬にはデータが完成しますが、なお三回ほど校正を重ね、七月末には印刷を完了し、八月には皆様のお手元に届けられる予定です。お待たせして申し訳ありません。

この出版に携わる私たち一同、限られた時間の中で今できる最上のものを主にお献げしたいと願っております。引き続きお祈りください。

お知らせ

『教会福音讃美歌』発行の遅れに伴いまして、発売記念特価での販売期間の見直しを検討しております。一般の皆様には、福音讃美歌協会およびいのちのことば社のホームページおよび発行物で、正会員の皆様には各教団、教派を通して決まり次第お知らせいたします。

ホームページ

- ・福音讃美歌協会 <http://jeacs.org/>
- ・いのちのことば社 <http://www.wlpm.or.jp/>

新しい翻訳の紹介 その3

第11号、12号に引き続き、『教会福音讃美歌』に収録される讃美歌の中から、新しい翻訳でお送りする作品をご紹介します。

讃=『讃美歌』、21=『讃美歌21』、聖=『聖歌』、新=『新聖歌』、イ=『インマヌエル讃美歌』

「聖なる 聖なる 聖なるかな」

Holy, holy, holy! Lord God Almighty!

讃66、21-351、聖96、新137、イ55、84

1. 聖なる 聖なる 聖なるかな
われらの讃美を 受けたまえ
恵みにあふれ 力に満ち
三つにいまして ひとりの主

2. 聖なる 聖なる 聖なるかな
すべての聖徒も 御使いも
冠(かむり)をすてて 御前に伏す
昔も今も 変わらぬ主

3. 聖なる 聖なる 聖なるかな
罪ある目には 隠れても
並ぶものなき 聖なる神
愛と力の 栄えの主

4. 聖なる 聖なる 聖なるかな
空にも地にも 満ちわたる
造られしもの 御名をほめる
三つにいまして ひとりの主

「心を照らす灯は」

There is sunshine in my soul today

讃533、イ512

1. 心を照らす灯は イエスの光
昼の日差しより さらにまざる

(くりかえし)

光の主イエスの ほほえむその笑顔
喜びをあたえ 平和に満たす

2. 心にうかぶのは 主への讃美
歌にできずとも 主は聞かれる

3. 心に春の日が 照り輝く
イエスの御恵みと 平和が咲く

4. 主イエスの祝福に 喜び満ち
愛とほめ歌と 望みがわく

「イエスよ、愛の御手をのべて」

Precious Lord, take my hand

聖557

1. イエスよ、愛の 御手をのべて
助けたまえ、われを
嵐ふいて 嘆くときも
立たせたまえ イエスよ

2. 道はあれて 迷うときも
いのち果てるときも
祈り求む 声をきいて
答えたまえ イエスよ

3. 闇がせまり 夜がきても
道がつきるときも
御手をのべて 弱る足を
支えたまえ イエスよ

4. イエスよ、ひとり 悩む我に
愛の御手をのべて
天の家に 続く道に
立たせたまえ イエスよ

「あなたこそわが望み」

Be Thou my Vision

21-531、讃358、聖259

「川辺をあゆめば」

Shall we gather at the river

聖687、新475

1. あなたこそ わが望み
たぐいもなき わが主よ
昼も夜も 輝く
わが光 わがすべて

2. まことなる みことばよ
ともにいます わが主よ
われを神の子として
わがうちに 住みたまえ

3. あなたこそ わがつるぎ
わがよろこび わがたて
嵐の日に のがれる
わがまもり わがとりで

4. 世のほまれ 世の富も
心みたす ことなし
あなただけが わが神
わが宝 わがゆずり

「信仰こそわが身を助ける杖」

My faith, it is an oaken staff,

21-458、讃270、新275、イ498

1. 信仰こそ わが身を 助ける杖
戦いの時の 強きつるぎ
恐れも危険も 誘惑も越えて
御国を目指して 勇み進む

2. 険しき山路も 草の野辺も
確かな主の手に 導かれて
心つよくされ まどわしも越えて
御神に近づく 道を歩む

3. 信仰こそ 確かな旅の助け
偽りを破る するとき剣
すべての聖徒を 励まし続ける
御霊の力を 与えたまえ

1. 川辺をあゆめば
きらめく流れ
天使もあつまり
輝きうたう

(くりかえし)
主の御座のそばの
きらめくきれいな川に
笑顔を合わせて 皆
ともに集う

2. 銀色の波の
流れをたどり
ふりかえる日々は
黄金（こがね）の旅路

3. 輝く流れに
近づくわれら
重荷をおろして
冠（かむり）をうける

4. すぐにたどりつく
いま旅は終わる
心はふるえる
平和の歌に

「ひとつのバラが花を開く」

Es ist ein Ros'entsprungen

21-248、讃166、聖88、新69

1. ひとつのバラが 花を開く
エッセイの根より 香り高く
伝えられた 誓いのごとく 寒き夜半に

2. 見よ清き母 御霊により
イザヤの告げた 子を身ごもる
神のことば 世を救うため 人となりぬ

3. 小さきその花 甘くかおり
きよき光は 闇をぬぐう
救いの主は まことの御神 まことの人

(くりかえし)
心をひくく 天を見上げて
主の恵みを待とう

「ほめ歌え 主の御名を」

O worship the King, all glorious above

讃3、聖93、イ101

1. ほめ歌え 主の御名を
栄光の 輝きを
力強く 愛に富む
われらの王 永遠(とわ)の主を

2. ほめ歌え 主の民よ
御力と 御恵みを
天を広げ 幕屋とし
いかずちをも 統べる主を

3. 限らない 主の力
揺るぎない 主のさだめ
地の基を 据えられて
海をつくり 治める主

4. 主の恵み 満ちあふれ
日の光 地を照らす
水は丘を 流れゆき
野を潤し 雨となる

5. 主を求め 主に頼れ
弱き者 罪人よ
救いの主は 終わりまで
ともにおられ 守られる

「ともにパンを分け合おう」

Let us break bread together

讃・第二編179、21-79

1. とともにパンを分け合おう
ともにパンを分け合おう

2. 主のさかずきを受けよう
主のさかずきを受けよう

3. 主の御名をほめ歌おう
主の御名をほめ歌おう

「うるわしき王なるイエス」

Schönster Herr Jesu

21-482、讃166、聖88

1. うるわしき 王なるイエス
人となられた主
神のみ子 主を愛し
喜びあがめる

2. 森の木々 草の野辺に
春の花匂う
主のかおり 主のまこと
何よりうるわし

3. 夜の月 朝の光
星の輝きも
主の光 主の愛に
まさるものはない

4. うつくしき 花も人も
若さも力も
衰えゆく その定め
永遠の主をあおぐ

5. うるわしき すべてのもの
造り主のわざ
ただ主のみ わがすべて
愛する主イエスよ

❖ INFORMATION ❖

♪ OBI特別講座 教会福音讃美歌セミナー

このたび『教会福音讃美歌』の出版にあわせて、お茶の水聖書学院で教会賛美についての講習会が開かれることになりましたことはまことに嬉しいことです。戦後、伝道あるのみの感が強かった日本の福音的教会も、近年になって礼拝学などにも目が向くようになりました。その流れのなかで教会賛美歌集に取り組むことは必須でした。今回の講習会でそのようなところに関心を持っていただき、礼拝の現場に生かしてくださればさいわいです。

福音讃美歌協会代表理事 安藤能成

講師：中山信児、植木紀夫

場所 お茶の水クリスチャン・センター（OCC）416号室

講座内容

開催日	回	時間	内容
6月9日 (土)	1	10:30-11:30	会衆賛美を考える① 会衆と牧会者の視点から（中山）
	2	11:35-12:35	福音派の賛美と讃美歌集① 福音派の賛美概観（中山）
	3	13:30-14:30	礼拝音楽の歴史① 会衆歌唱の変遷 宗教改革以降100年間を考察する（植木）
	4	14:35-15:35	讃美歌を歌う（植木・中山）
7月21日 (土)	1	10:30-11:30	会衆賛美を考える② 音楽奉仕者の視点から（植木）
	2	11:35-12:35	福音派の賛美と讃美歌集② 福音派の新しい讃美歌創作活動（中山）
	3	13:30-14:30	礼拝音楽の歴史② 会衆歌唱と楽器 パイプオルガン、リードオルガンの使用とその経緯（植木）
	4	14:35-15:35	讃美歌を歌う（中山・植木）

受講料：1日4回で6,000円。部分参加の場合は、1回2,000円

お問い合わせ： OBI事務局 03-3296-1005 福音讃美歌協会 info@jeacs.org

♪ 讃美歌についての集会を企画してみませんか。

礼拝説教、伝道会、修養会、讃美についての学び、音楽奉仕者の研修や講習などに、福音讃美歌協会の理事、讃美歌委員を派遣いたします。ぜひお招きください。

・お問い合わせ info@jeacs.org

tel.03-5341-6920 fax.03-5341-6921 （いのちのことば社出版事業部内）

♪ 「福音讃美歌ジャーナル」投稿募集

福音讃美歌協会の働きへのご意見、ご希望、讃美についての思い、教会での取り組みの紹介など、皆様からの投稿をお寄せください。

・原稿は600字以内。

・電子メールにテキスト書類を添付し、住所、氏名、電話番号、所属教会を明記の上、福音讃美歌協会（info@jeacs.org）までお送りください。

・次号（2012年10月発行予定）掲載分の締切は、2012年8月末日です。

・掲載誌の発送をもって採否の発表に代えさせていただきます。

＊ 会 計 報 告 ＊

2011年4月-2012年3月

■収入の部■

科 目	2011年度予算案	2011年度実績
会員負担金	1,260,000	1,321,000
正会員	750,000	750,000
準会員	60,000	60,000
賛助会員	450,000	511,000
自由献金	350,000	313,376
その他	0	88
当年度収入合計（A）	1,610,000	1,634,464
前年度繰越金	562,247	562,247
収入合計（B）	2,172,247	2,196,711

■支出の部■

科 目	2011年度予算案	2011年度実績
理事会費	65,000	115,704
委員会費	290,000	410,982
人件費	340,000	300,000
事務費	100,000	132,877
ジャーナル発行費	450,000	407,270
カンファレンス開催費	250,000	95,580
総会開催費	40,000	11,892
JEA関係費	35,000	45,000
予備費	150,000	0
当年度支出合計（C）	1,720,000	1,519,305
当年度収支差額（A） - （C）	-110,000	115,159
繰越額／残高 （B） - （C）	452,247	677,406

【賛助会費納入者】（2011年4月-2012年3月）

大宮キリスト教会、上作延キリスト教会、キリスト教朝顔教会、栗橋キリスト教会、西大寺キリスト教会、栄福音キリスト教会、菅生キリスト教会、世田谷中央教会、鶴ヶ島聖書教会、浜田山キリスト教会、馬天キリスト教会（11教会） 赤江弘之、安西仁美、刑部照美、石川岩夫、石川弘司、稲垣博史・緋紗子、岩下シノブ、大島章義、大滝忠子、神谷聡子、小林義正、斎藤とし子、齊藤眞木子、高橋和江、高橋和義、竹中久三・節子、辻喜男、中山信児、奈良献児、南場安正、樋口邦彦、藤本侃也、福田愛子、村松容子、三木智枝子、横倉知恵、匿名（29件）

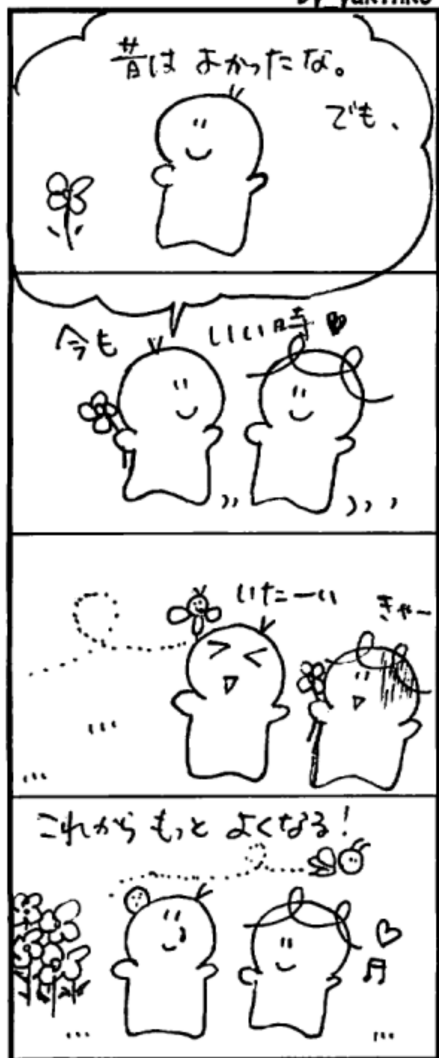
【献金者】（2011年4月-2012年3月）

泉キリスト教会、沖縄セミナー献金、大磯キリスト教会、川越聖書教会、熊本キリスト教会、古河教会、こどもの国キリスト教会、鷺沼キリスト福音教会、JECA中部地区役員リーダー研修会献金、長津田キリスト教会、浜田山キリスト教会、浜松中沢教会、東村山キリスト教会、武蔵台キリスト福音教会、刑部照美、小池宏明、篠田安子、高橋和江、津布久恵美子、中山信児、山村雅彦、横倉知恵、匿名、（23件）

お名前の掲載を希望されない場合は、通信欄に匿名希望とお書きくださるか、メール（info@jeacs.org）で、その旨をお知らせください。

ハレルヤほうや

by yukinko



エルミヤ 29:11

福音讃美歌協会・会員募集

◇会員の種別は、以下の三種類です。

正会員（教会・教団・教派等）、準会員（超教派団体・グループ等）、賛助会員（趣旨に賛同し支援してくださる教会、個人等）

◇賛助会員のお申し込みは、入会申込書をご請求いただき、必要事項をご記入の上、郵送またはFAXでお送りください。承認後、年会費のお振込みにより入会が完了致します。

◇正会員、準会員のお申し込みにつきましては、協会へ直接お問い合わせください。

◆郵便振替口座◆

番号 00220-1-95127
名称 福音讃美歌協会

◆郵便貯金口座（ばるる）◆

番号 10500-82654721
名称 福音讃美歌協会

◆銀行口座◆

みずほ銀行 ユーカリが丘支店
普通預金 口座番号 1604668
名称 福音讃美歌協会

一般社団法人 福音讃美歌協会 JEACS

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1
OCCビル 602号室

tel.03-5341-6920 fax.03-5341-6921
(いのちのことば社出版事業部内)

ホームページ <http://jeacs.org/> メール info@jeacs.org

From Editor 編集後記

『教会福音讃美歌』の校正二巡目のチェックを終えて、この稿を書いています。発行までにはまだ幾つかの行程が残っていますが、皆様のお手元にお届けできるのは、夏頃になつてしまします。祈り、待ち望んでくださっている皆様には心からお詫びしつつ、続けて、お祈りくださいますよう、お願い申し上げます。

さて、讃美歌集は出版したらそれで終わり、というものではありません。讃美歌集をより良く使っていただくための、さまざまなツールが求められています。

一番大きな要望は、新しい讃美歌を耳で聴けるようにして欲しいということです。著作権の問題など超えるべき課題はありますが、幾つかの形態で音源を提供できるように検討しているところです。また、讃美歌の中には、奏楽者にとつてやや難易度の高いものもいくつかあります。そのような讃美歌のための「やさしい伴奏譜」も提供できるように考えています。

また、これは長期的な課題になると思いますが、教会で望まれるさまざまな使用形態に対応できるような著作権環境の整備にも取り組んでいきたいと考えています。

そして、おそらく三十年ぐらい先になるでしょうか、次の讃美歌集編集に向けての準備。次世代、次々世代に讃美歌について重荷と賜物をもつて仕える人材がおこされるように、祈り備えていきたいと思っています。

この働きのために、なお皆様のお祈りとご支援を必要としています。（な）